

『Impression』 寸評

- ・ 歯切れよくいきおいのあるファンファーレ
- ・ 機能和声から自由なヴォイシング、しかしセブンス系コードを多用していないので3和音が新鮮にきこえる
- ・ m.3-6 主和音ロングトーンがいきなり **p** であらわれ斬新
いっそ休符なしで伸ばしっぱなしでもよかった
- ・ 演奏しやすく効果的な音域にどの楽器も書かれており、作曲者の見識がうかがえる
区切り (m.2, 8) の休符も吹奏楽器に親切
- ・ 印象主義からの「Impression」であろうが、作品理解につながる
何についての印象なのか、タイトルにもう一言ほしい

完成度をさらに上げるために

- ・ 課題旋律と2つめの音がちがうが、全面的に動機労作されてるので
このままでよい
- ・ m.7 b.3 チューバはミのまちがいであろう
- ・ m.3 フェルマータ後は *a tempo* をおいてもよい
- ・ m.16 チューバが四分音符でドソドと付点二分音符にふくまれない
第5音をいれても効果がよい
- ・ m.1-2 デイナミックは全員 **f** でよい←おなじことをしているから
- ・ m.2, 10 b.2 Trb. ラ♭のほうが和音に即している
- ・ m.11 b.3 Trb. 実音ミでよい
- ・ m.12 b.2 Trb. シ♭のほうが和音に即している

m.=measure 小節番号のことです。

b.=beat 拍のことです。

目的な和声配置、たいはん月宛を上げましたね！

持魔 勉